

2011.9月

品質月報

Monthly Quality Report

発行部署 : サンシン電気(株)・品質保証部

9月号 INDEX

9月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

今月のテーマは…
「品質で勝負！人気"産直"のヒミツ！」

PAGE 5 ……今月の品質状況

8月は市場不良0件

PAGE 6 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 7 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 8 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 9 ……活動報告

第6回 技術発表会開催 !!



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成18年7月1日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗



今月のトピックス

「品質で勝負！人気"産直"のヒミツ！」

「品質で売れば農業が変わる 産直市場の挑戦」と題して9月4日にNHKの“サキどり”という番組で放送されていた産直市場のお話をご紹介します。

茨城県つくば市。
ここに地元の農業関係者が作った産直施設
「みずほの村市場」があります。



朝9時、開店するやいなやたくさんのお客さんがやってきます。お客さんは地元だけでなく、東京など首都圏からもどんどんやってきます。その数、年間30万人。一年の売り上げは7億円を超えています。この市場に並ぶ作物の値段を見てみると...枝豆500円。かぼちゃは1180円。ぶどうは2000円と高め。なのに、なぜこんなに人気なのでしょう？



その秘密は、この野菜を作っている50軒の専業農家の、品質へのこだわりにあります。おいしい野菜を作るために、日々、時間やコストをかけて追究しているのです。どうして品質に専念することができるのでしょうか？

この市場のしくみの一つは、「価格は農家自身が決める」こと。通常は、スーパーなど販売店が価格を決めているため、農家は赤字にならないように気をつかいます。品質面で妥協する点も出てきます。しかしここでは、かけた手間とコストによって農家自身が価格を決めるため、良いものを作ることに専念できるのです。

農家は「納得のできる品質の野菜作り」を。
一方、消費者は「安全でおいしい野菜を食べたい。」
「価格競争」ではなく「品質競争」で育てていく農業で勝負しているという内容でした。

3月に起こった東京電力・福島第一原発の事故。その影響は、みずほの村市場にも及び、茨城県内のハウレンソウから基準を超える放射線量が検出され、それ以来、ハウレンソウ以外の作物も売り上げが急落。そこで市場では、事故からわずか2週間後に放射性物質のチェックを開始。農家が作物を初めて出荷する時に、すべての品目について検査をし、今も新たな作物が出荷されるたびに検査を続けてるようです。



かけた手間とコストに応じて価格を決めると言っても、あくまでも市場との兼ね合いもあり、「品質競争」だけで競争をするというのは現実的に我々には非常に難しいことだと思います。しかし、品質に専念する姿、すぐに行動する姿勢、やりがいを持って仕事をされている農家の方々の姿に羨ましいと思うと同時に、多くの学ぶべき点を感じました。

(品証)



今月の品質状況

カウント期間：2011年8月1日～8月31日発生分

市場不良発生状況
8月期間中での市場不良は0件でした。

今月の不具合状況

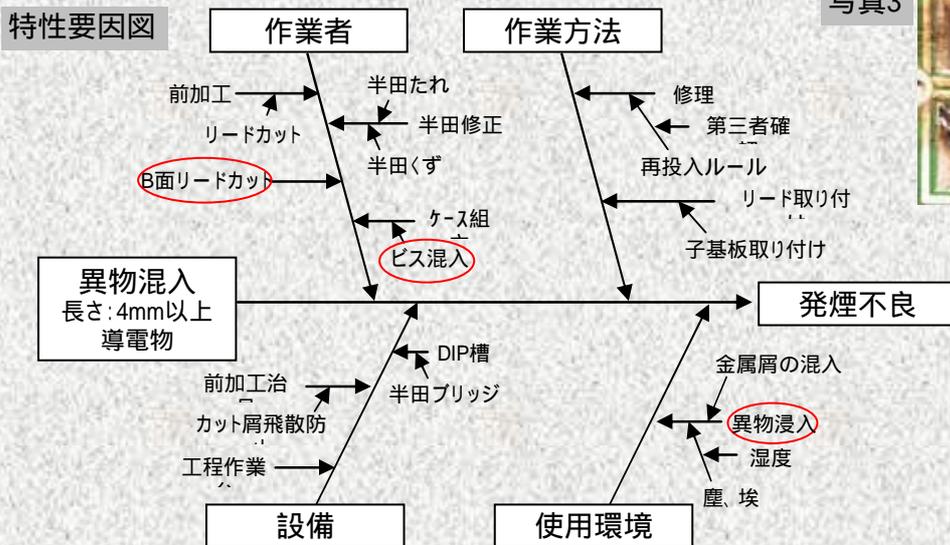
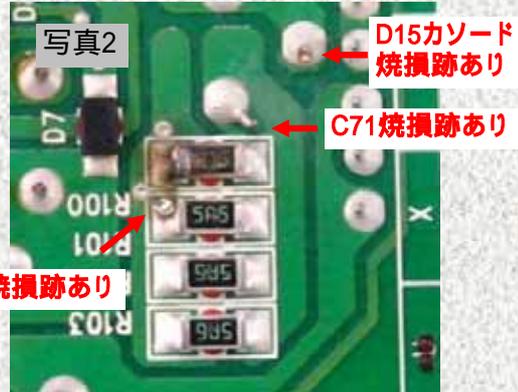
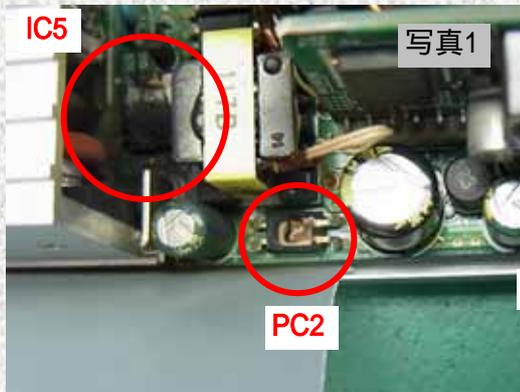
【市場不良情報】

SU-082RW市場クレーム

8月9日、お客様から市場クレーム(製品から発煙)の連絡を受けました。

情報

- ・起動開始してから1,2分後に、バチバチと音がして、その後爆発音がした。
- ・上カバーを開けて内部を確認したところ、IC5、PC2が焼損している。(写真1)



解析結果

その他、B面R100～103焼損、C71両端パターン間に焼損跡あり。(写真2、3)

原因

症状から判断してC71両端ランドショートの原因と断定(アブノーマル試験結果から)
特性要因図等による分析の結果、ケースの冷却用空気孔などに外部から非常に
細かい繊維状の導電物が混入した可能性が高いと原因推測。

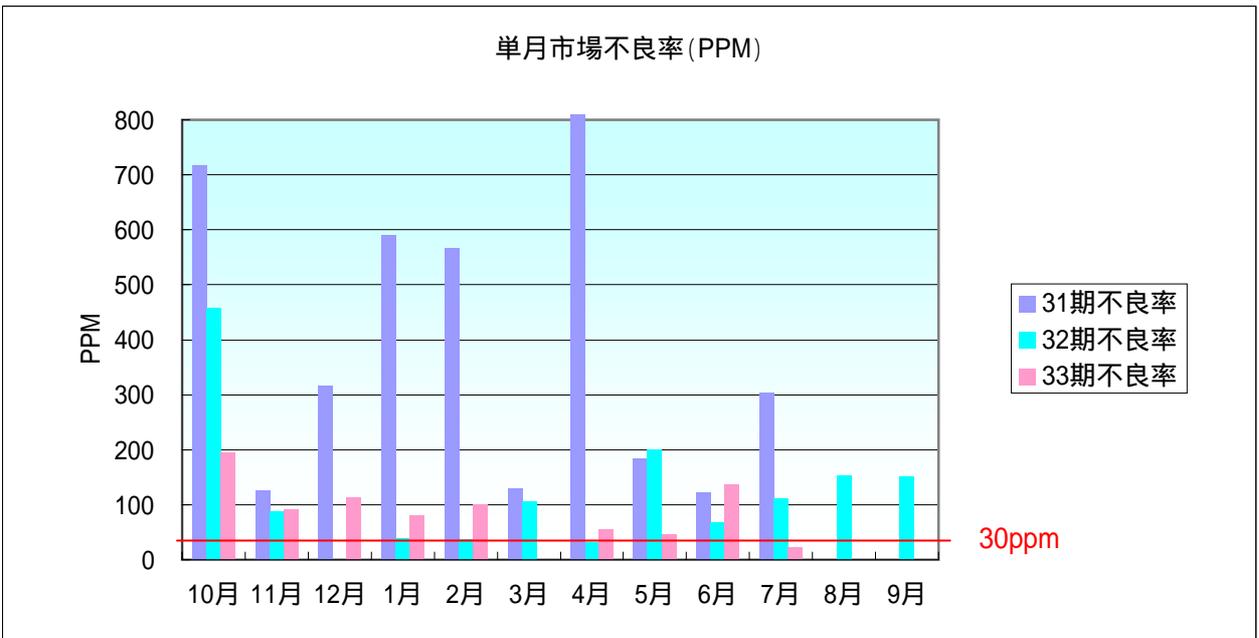
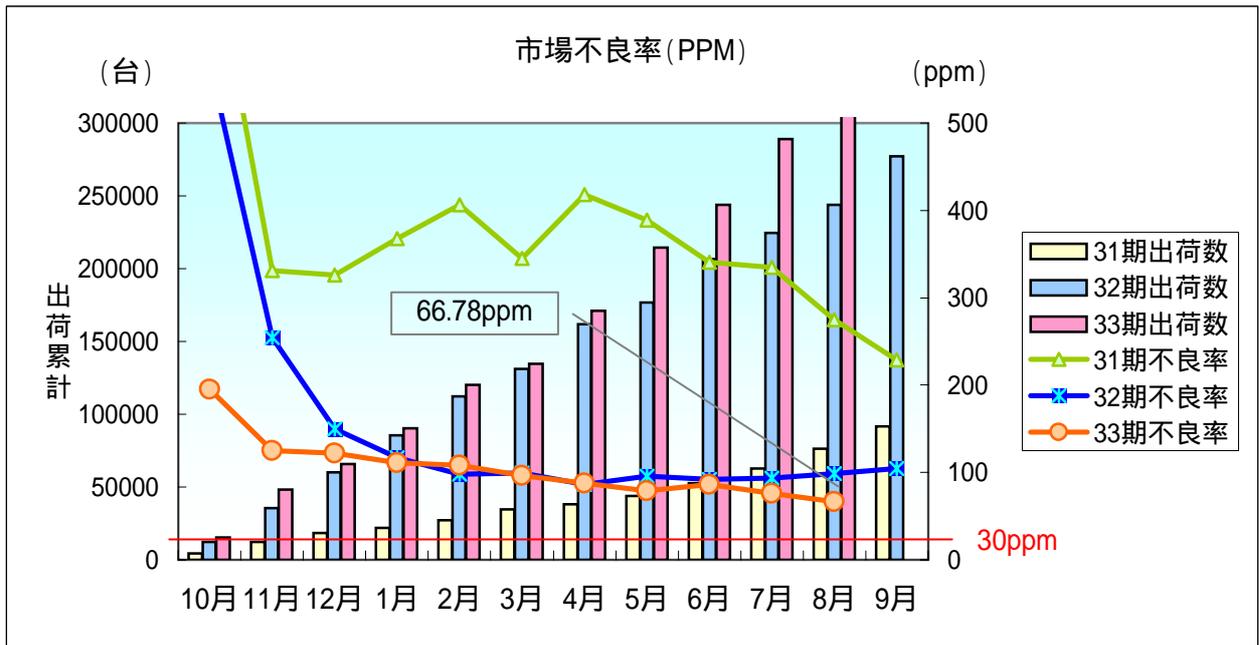
今月の品質状況

33期の旗印

納入不良率 目標……30ppm

33期は30ppm以下を目標にしております。
現時点での累計不良率は66.78ppmとなっております。

32期のはじめ頃から一年半近く100ppm付近で安定しているような不良率でしたが、ここに来て若干減少傾向の兆しが見えているように思われます。
製造工場での取り組みの成果がようやく出始めたものと感じております。

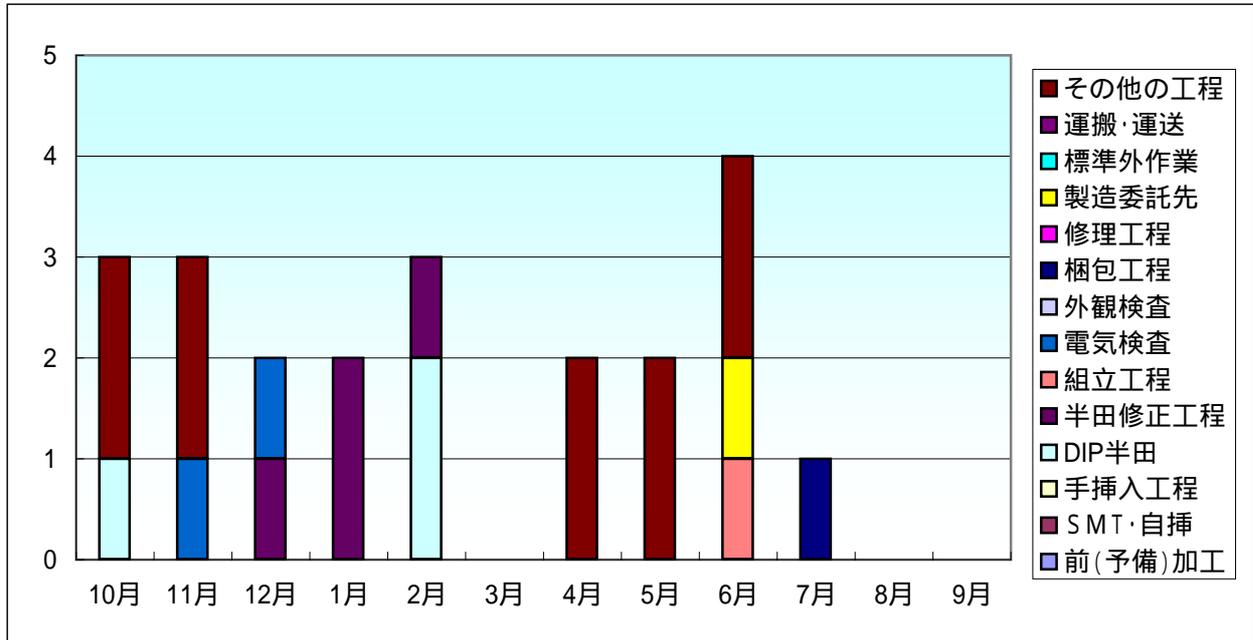


8月は市場不良0件です。
毎月の品質会議の中でも、工程内不良を分析し工程内不良率も減少し続けてきている結果が見えてきております。このまま良い傾向が継続できるように取り組みを続けて行きます。

品質状況詳細

原因別、並びに工程別市場不良発生状況

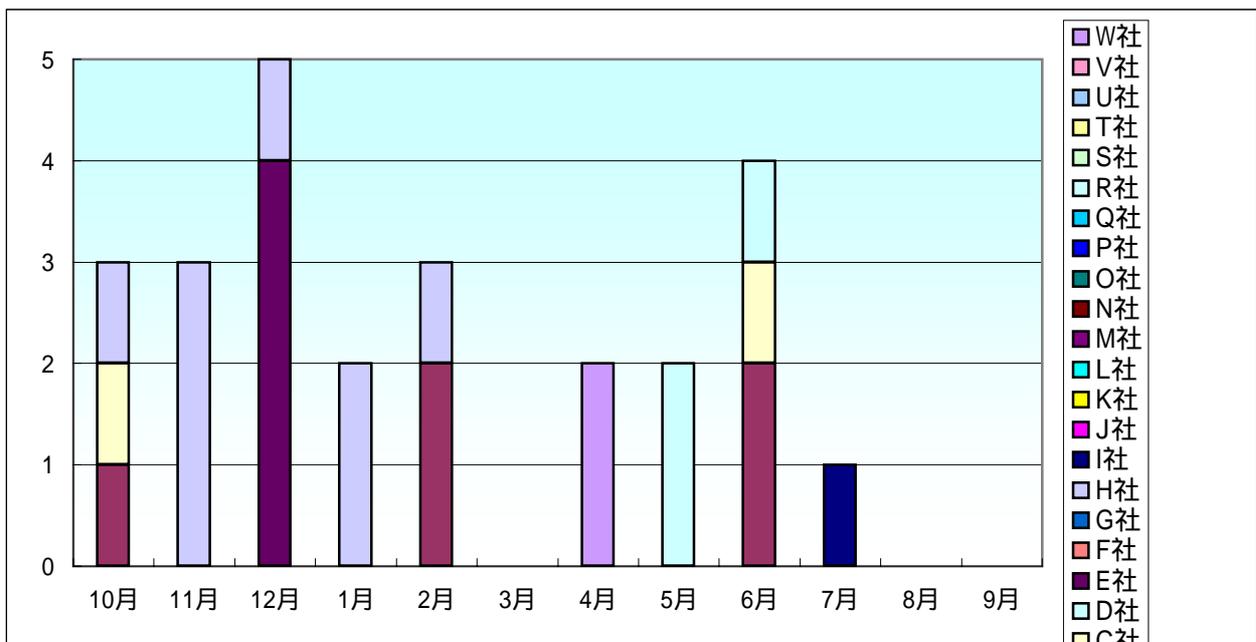
工程別不具合



8月は不良0件

地道な工程内不良撲滅運動が徐々に効果を上げて来ているのかも知れません。
今後も工程内不良を削減して行く努力を続けたいと思います。

客先別不具合



客先別累計不良発生率

H社 8件/7,999台 (1000ppm)
E社 4件/10,800台 (370ppm)
D社 3件/16,002台 (187ppm)

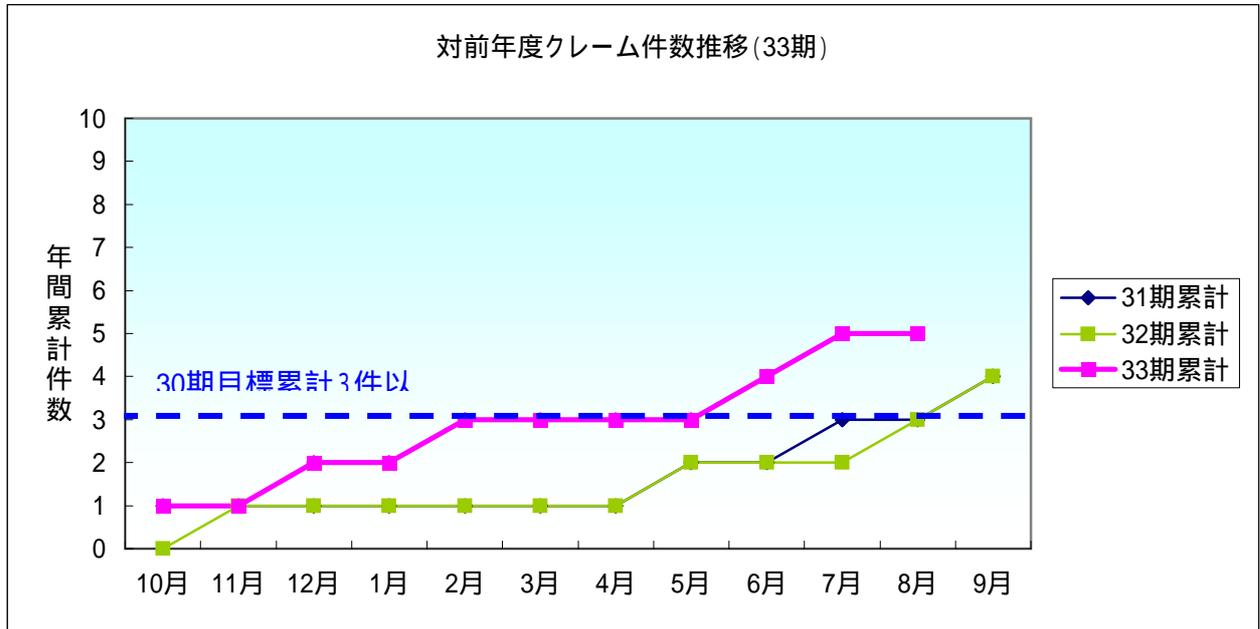
I社 1件/7,013台 (143ppm)
C社 2件/24,195台 (83ppm)
不良発生0件、大きな変動はありません。

品質状況詳細

クレーム発生状況

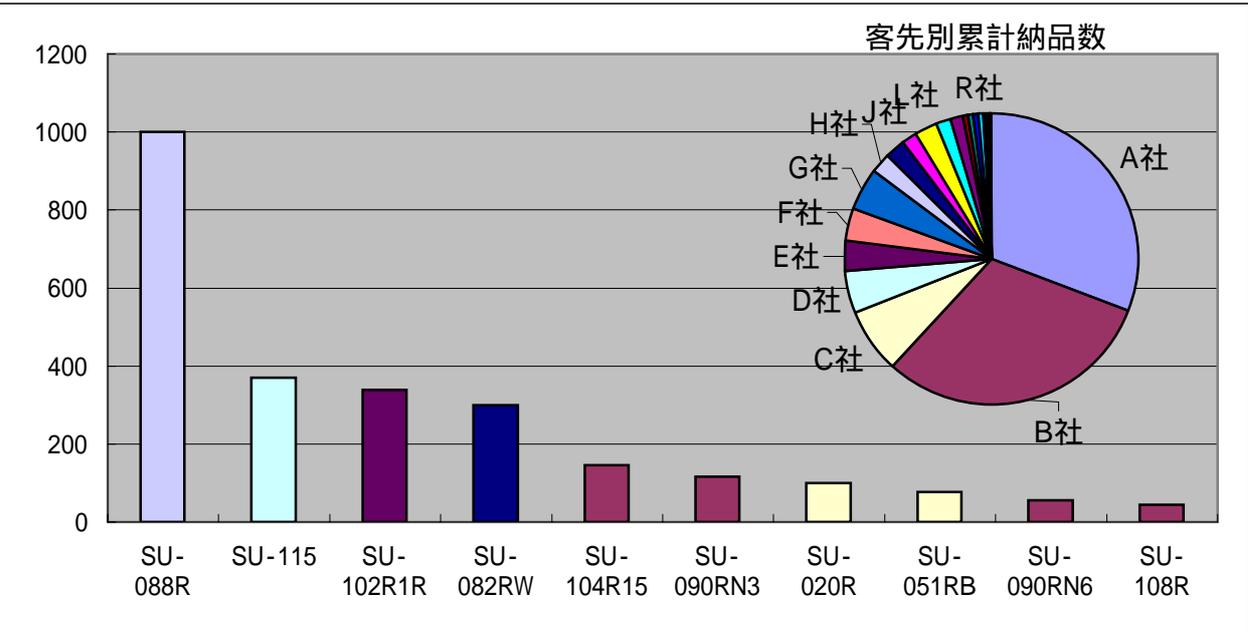
クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合



8月のクレーム不良は0件。
今期も後一月です。目標はオーバーしてしまいましたが、もうこれ以上は発生しないように
がんばりましょう。

機種別累計不良率



機種別累計不良率です

SU-088R (H社)	8件/7,999台 (1000ppm)	SU-104R15 (B社)	1件/6,859台 (146ppm)
SU-115 (E社)	4件/10,800台 (370ppm)	SU-090RN3 (B社)	1件/8,640台 (116ppm)
SU-102R (I社)	1件/2,949台 (339ppm)	SU-020R (C社)	1件/9,994台 (100ppm)
SU-082RW (D社)	3件/9,995台 (300ppm)	SU-051RB (C社)	1件/12,905台 (77ppm)

開発技術部の活動報告紹介

第6回 技術発表会開催!!

8月30日 技術発表会が開催されました。
今回で第6回となった技術発表会ですが、新人やグループ会社も含め、4名の方々によるプレゼンが行われました。

LED照明用電源の開発設計に関して



開発技術部からは、「LED電源開発設計について」という議題で主力製品について有岡GMに発表していただきました。



キセノン管発光回路の開発に至る経緯について

2011年8月30日
新光和本株式会社 泉好吉



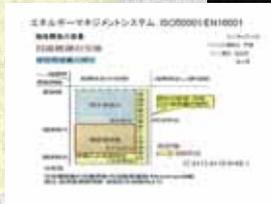
今回、初めてグループ会社の新光和から「キセノン管発光回路の開発」について、泉さんに発表していただきました。「これを機会にキセノン管にも興味を持っていただけたら幸いです。」とのことでした。

新人 岩瀬さん登場です!!
CEATEC JAPAN のノベルティであるLEDキーホルダー作製の苦労について発表していただきました。「発表の勉強になりました。」と言う事でした。

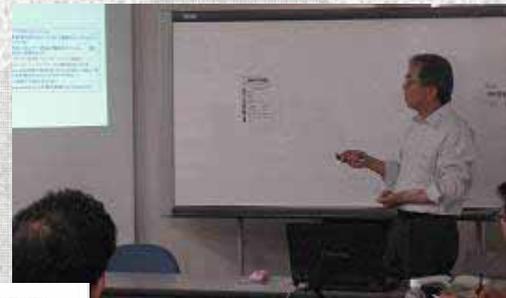
CEATEC JAPAN 2011ノベルティ



エネルギーマネジメントシステム ISO50001/EN16001



最後は保土原GMに発表していただきました。
エネルギーマネジメントシステム ISO50001/EN16001について紹介していただきました。



次回は営業の方にも発表していただくことが決定しました。非常に期待しております。

受講風景はこんな感じです!!
次回も多数の方々の受講をお待ちしております。(品証 林)

